

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		その他		授業の方法		講義演習	
科 目 名		地域療養を支えるケアマネジメント		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		3学年		学期及び曜時限		前期		教室名		新館2階・3階	
担 当 教 員		植田 陽子 高田 厚子		実務経験と その関連資格		【実務経験】国立小児病院(1年間)市立豊中病院勤務(8年間)豊中市教育委員会勤務(20年間) Nurse Fightの運営(4年目)【資格】看護師資格 精神保健福祉士					
《科目目標》											
1. 地域・在宅生活を支えるケアマネジメントの展開方法の基本が理解できる。 2. 地域連携室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの役割が理解できる。 3. 療養者や家族が望む生活を実現するためのケアマネジメントの展開について事例検討できる。											
《成績評価の方法と基準》											
【評価方法】グループワークへの参加状況10%、課題レポート40%、終講試験⇒50% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療法を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域療法を支える技術 メディカ出版											
《授業外における学習方法》											
事例について事前に読んでわからないところは調べ、事例の状況をイメージしておく。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的内容を参照する。											
《履修に当たっての留意点》											
社会福祉、社会制度論・成人老年看護学等で学んだ退院支援や多職種・多機関連携を取り入れながら在宅療養を支えるためのケアマネジメントについて考える。ケアマネジメントを考えるうえで5W1Hで制度の活用方法まで具体的に考え計画する。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアの必要な小児が教育や保育を受けながら地域での生活を継続するためのケアマネジメントが考えられる					プロジェクター iPad 居宅サービス計画書	P249の事例を読み状況をイメージしておく。 居宅サービス計画書、課題をまとめて指定日時に提出する。		
		各コマにおける授業予定	1)医療的ケアの必要な小児が教育や保育を受けながら地域で成長するために必要な支援～医療制度や福祉制度にはない「教育」あるいは「保育」において求められる看護師の専門性と取り組み 2)活用できる制度と手続き方法を調べる								
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアの必要な小児のよりよいケアマネジメントが立案できる					プロジェクター iPad 居宅サービス計画書	グループで作成した居宅サービス計画書を指定日時に提出する。		
		各コマにおける授業予定	1)個人ワークで考えたケアマネジメントをグループで共有する 2)意見交換を行いより良いケアマネジメントを検討する								
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各事例のケアマネジメント発表を通じ共有学習できる					プロジェクター iPad	発表までにグループでまとめておく。		
		各コマにおける授業予定	・重症心身症障害児の事例 *発表15分 質疑応答5分								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害のある対象(統合失調症)が地域での生活を継続するために、必要な支援の考え方を理解する					テキスト)在宅療養を支えるケア 在宅療養を支える技術	授業前⇒テキスト)在宅療養を支える技術P228の統合失調症事例を読み状況をイメージしておく。 授業後⇒P228の統合失調症事例に必要な社会資源を考えておく		
		各コマにおける授業予定	1)対象と家族の意向に基づいたニーズの把握(退院前指導の訪問等) 2)対象が地域で生活を継続するために必要な支援の考え方 3)精神障害のある対象が活用できる制度と手続き方法 4)地域の関連機関、関連職種との連携の実際								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害のある対象(統合失調症)が地域での生活を継続するために、必要な支援計画が立案できる					テキスト)在宅療養を支えるケア 在宅療養を支える技術	授業前までにp228の統合失調症事例に必要な社会資源を考えておく 授業後に個別の支援計画書を提出(提出物で評価)		
		各コマにおける授業予定	1)必要なサービスとその組み立ての考え方(個人ワーク内容を共有して支援計画立案をすすめる) 2)社会参加や就労支援について、段階的な進め方								